

2010 JOC 女性スポーツフォーラムに参加して

重 由美子

2010年10月25日 東京 ナショナルトレーニングセンター

2010年JOC女性スポーツフォーラムが、10月25日、東京ナショナルトレーニングセンターで行われ、参加する機会を得ました。

フォーラムの目的は、JOC女性スポーツ専門委員会と各競技団体等が「女性とスポーツ」に関する課題を共有し、解決に向けたネットワークづくりです。

今回のテーマは、「女性リーダーの更なる増加と前進を目指し」

ということで、基調講演として、「組織の中の女性」というテーマで、テレビ朝日編成局編成部兼アナウンス部局次長待遇の 宮嶋 靖子さんが講演をされました。女性のスポーツ人口が、男性よりも増える中、組織の中で、リーダーシップを取れる女性を排出するためには、女性だからパーセンテージ的に組織のリーダーの中に入れてもらうということではなく、組織の目的と自分の役割をしっかりと認識し、経験と、知識と作戦を用い組織に貢献できるよう、男性、女性の特性を理解したうえで、マネージメントを勉強していかなければならないというものでした。忘れてはならない、大切なこととして強調されたことは、「アスリート・ファースト」という認識を常に心がけておくということです。

なるほどと思ったのは、スポーツの団体には、頂点を目指して日々鍛錬してきた自分に自信があり、職人気質で、自分が正しい、自分が一番と思っている人が多いため他の団体よりも、もめごとの比率が多いというものでした。気をつけないといけない助言です。

日本のスポーツ界で、いろいろな立場でリーダーとして参加する女性の割合は、ほぼ1割程度ではないかと認識していますが、私が今年、参加させていただいたISAFユースワールドでのコミッティーの女性の比率は、ほぼ50%強、大会会長、NFの会長、実行委員長、プロテスト委員長すべて女性でした。みなさん、生き生きとパワフルに立場と役割を認識して、スマートに仕事をこなされていました。一人の人間として、やりたいことを素直にやれる世界が浸透していることを伺わせました。

講演の中で、日本のスポーツ人口は、男女逆転し、女子が多く、北京オリンピックでは、女子の参加率が43%、ユースオリンピックでは、46%で、女性のスポーツ参加率は、上昇を続けているとのことでしたが、こと、セーリングに関しては、国体での成年男子の参加率88%に対して成年女子57%、少年男子87%に対して、少年女子65%と極端に女子の参加が少なく、その他のインカレ、インターハイでも同様で、自主参加の選手権大会等に至っては、女

子の参加率は、どの種目もほぼ 3 分の 1 で、マリナーの更衣室等もそれに比例して、面積は 3 分の 1 のところがほとんどであるという状況です。国際的にみてもセーリングのチャンピオンシップの女性の参加率は、ほぼ半数です。

パネルディスカッションでも、柔道の JOC 女性スポーツ専門委員の田辺陽子さんが、女性は、高校大学を卒業すると、競技を断念し、競技者登録をしなくなるのが、全体の登録者減少につながり、女性に柔道が続けてもらうにはどうしたらいいか？というところで取り組んでいるということを発表されていたり、しゃいしましたが、セーリングでも同様のことがいえます。

講演者の宮嶋さんが、モンリオールオリンピック女子バレーチームで NPO 法人を作り、スポーツを通じて社会奉仕、社会貢献を目的として活動しているということをお話しされましたが、バレー界は、ママさんバレーで、60 歳オーバーの方もいきいきとプレーされ、ママさんバレー大会に参加され、そのコミュニティの中で楽しく生活されている姿を私の地域でも目にし、また、オリンピック選手が地域に出向き、そういった人たちとゲームを楽しんだり、指導したり交流したりというイベントがあり、好循環が確立されています。セーリングも、女性が、セーリングゲームの本来の楽しさを学生の内に体感し、社会に出てもセーリングゲームを続け、美容と体と心の健康と仲間作りのための大会が存在したら。。。と一つても華やかでエキサイティングで、格好の社交の場となりうるのではないかなと思います。

先ごろ、文部科学省よりスポーツ立国戦略が発表され、パネリストの文部科学省の森岡さんが、目指す姿として「新たなスポーツ文化の確立」を挙げられました。スポーツが文化として、社会に認められ、社会に貢献し、社会を元気にしなければ、税金の投入も社会に認められることはなくなり、日本のスポーツ界も衰退してしまいます。パネリストのシンクロナイズドスイミングの小谷さんが、自分のこれからのビジョンとして。「スポーツを通じて人生の金メダリストを育てる。」と意見を述べられ、ウエイトリフティングの知念さんは、「勝つことが第一という思想が間違った方向に向かっている。マナーを身に付けた国際人アスリート養成を。」と発言されていたり、しゃいしました。自ら楽しんでやっていることが、自然の内に他人にも好影響を及ぼしている。彼女たちを見ているとそのことを感じ、そういう連鎖が、発展することにつながると思います。

このフォーラムに参加して、スポーツが、する、見る、支える人口が増大し、文化として発展していくためには、女性のスポーツ参加を促し、促進することがキーワードであると感じ、そのためには一人のセーリング界に育ててもらった女性として何ができるか？を考えさせられたフォーラムでした。

貴重な機会を与えていただきありがとうございました。